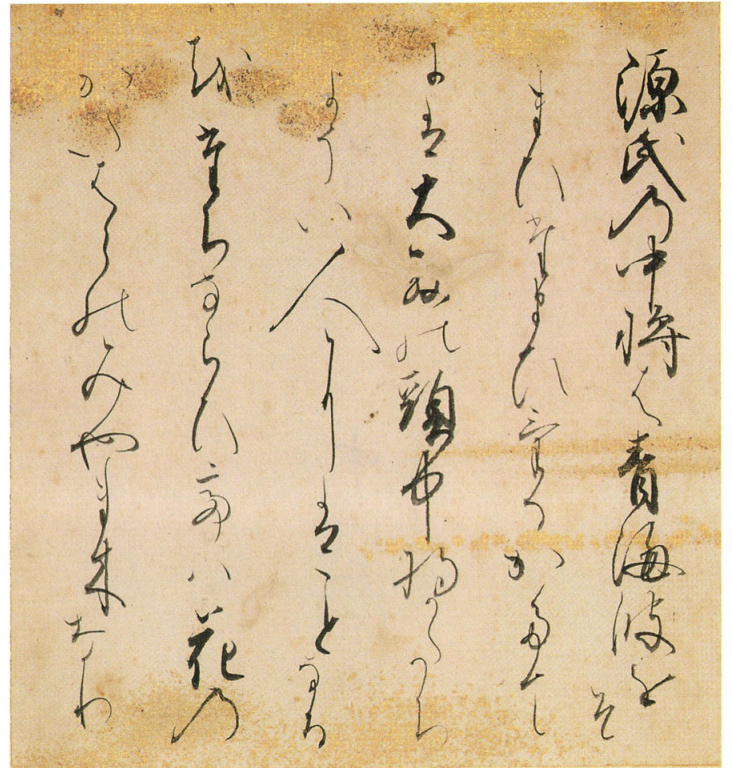


2 源氏物語画帖「紅葉賀」

1面(1帖のうち) 伝土佐光則

紙本着色 江戸時代(17世紀)
(紅葉賀)色紙 17.9×16.5

王朝文学を代表する『源氏物語』には当時の舞楽に関する記述も見られ、また後に絵画化されて描かれる全54帖の各図様にも舞楽の意匠を取り入れたものが知られる。代表的なのは「紅葉賀」で、朱雀院の御賀の御幸が行われた際、紅葉のもとで光源氏が頭中将と共に青海波を舞う図であろう。画帖によっては、この他に「胡蝶」や「御法」にも舞楽の図が表されている。本画帖は、54帖の詞書は近衛信熙(1599～1649)以下の公卿ら54名により、絵は土佐光則(1583～1638)と伝えられる。



「紅葉賀」詞書(中院通村筆)



「紅葉賀」青海波の舞

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に¹出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

雅楽―伝統とその意匠美

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 37

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十七年四月十六日発行

©2005, The Museum of the Imperial Collections